



平成27年5月20日

各位

会社名 株式会社セコニックホールディングス
代表者名 代表取締役社長 馬場 芳彦
(コード番号 7758 東証第2部)
問合せ先 取締役管理本部長 佐藤 重朗
(TEL 03-5433-3611)

通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成26年5月15日に公表しました平成27年3月期業績予想と、本日公表いたしました平成27年3月期の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成27年3月期の連結業績予想値と実績値の差異

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	10,500	300	300	130	7.59
今回発表実績(B)	9,035	6	329	71	4.19
増減額(B-A)	△1,464	△293	29	△58	
増減率(%)	△13.9%	△97.7%	9.7%	△44.7%	
(ご参考) 前期連結実績 (平成26年3月期)	9,572	39	162	△168	△9.82

2. 差異の理由

売上高につきましては、光学電子情報機器分野について、監視カメラの国内外での需要増やLED照明の普及に呼応したカラーメーターの需要増に応えるべく、当事業年度での新製品の販売を企図してきましたが、高品質・高精度等技術的要望に対応した開発に時間を要したこと等から、販売時期が大きく遅延したこと、また、事務機器分野については、受託先企業での機種更改を控えた在庫調整等から受注が減少したこと等から、前回予想を下回ることとなりました。

営業利益につきましては、前述のとおり特に開発費が先行したこと、また円安に伴い採算が悪化したこと等から、前回予想を大幅に下回ることとなりました。経常利益につきましては、中国連結子会社への貸付金にかかる為替差益が計上されたことから、前回予想を上回る結果となりましたが、当期純利益につきましては、中国連結子会社における移転価格取引に関する税務調査に関連して発生した過年度法人税に加え、同じく中国連結子会社における工場移転・閉鎖関連費用並びに生産設備にかかる減損損失を追加計上したことにより、前回予想を下回る結果となりました。

以上